町長の行政報告をお知らせします

八峰町９月議会定例会が５日から14日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。

町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

9月4日・5日台風21号 八峰町内にもガラス破損等の被害

４日から５日未明にかけて日本海を北上した台風21号について報告します。

４日午後２時４分に暴風警報が発表され、台風21号の進路予想と相まって災害発生のおそれがあったことから、４日午後４時に「災害対策連絡部」を設置し警戒にあたりました。

４日夜は、午後11時50分ころ、峰浜沼田の国道１０１号沿いの空き店舗のガラスが破損したとの報告があり、八峰消防署で片づけを行っています。

また、５日午前７時からも、被害状況確認のため町内の巡回を行っており、果実の落下を始め、倒木や屋根の剥離、小屋の倒壊や窓ガラスの破損などの被害を確認しています。なお、現在も被害状況の確認とその対応について進めているところです。

八峰町戦没者追悼式 恒久平和の決意新たに

八峰町戦没者追悼式が８月21日、峰栄館において行われました。式典には、ご遺族やご来賓の皆様など32名が出席され、先の大戦で犠牲となられた方々に哀悼の意を表し、戦没者を慰霊しました。

終戦から73年目となり、今を生きる多くの方々が戦争を知らない世代となっていく中で、平和の尊さを次の世代に語り継いでいかなければならないという思いを強くするとともに、悲惨な戦争を二度と繰り返さないという決意を新たにしたところです。

プレミアム付商品券発行事業 Wサービス事業に取り組み

次に、「プレミアム付商品券発行事業」についてです。

11回目となる今回は、プレミアム率は昨年同様の20％とし、額面６千円の商品券を１冊５千円で１万セット販売しています。購入限度額は、１人６冊までの３万円とし、さらに、今年初めて、子育て世帯については、通常購入限度額に加えて、１世帯あたり３万円まで購入できる優遇措置を実施しており、たいへん好評を得ています。

販売開始からお盆過ぎまでの８日間で、既に全体の54％の販売実績となっており、前回と比べて、８％早い消化率となっています。

また、今年度事業においては、参加加盟店が独自のサービスを行う「Wサービス事業」に初めて取り組んでおります。これは、９月と12月の２か月間に限り、各加盟店が商品券利用客に対して、各種割引やプレゼントなどを実施するもので、「現金で買うよりもプレミアム付き商品券で買うとお得になる」ことをアピールし、積極的な創意工夫により消費を作り出そうというものです。

なお、販売期間及び利用期間は、平成31年２月８日までとなっており、事業主体である白神八峰商工会とともに、早期完売に努めます。

水稲の作柄概況は平年並み 生育「やや良」と見込まれる

次に、水稲の作柄概況についてです。

東北農政局秋田県拠点は、８月15日現在の作柄概況を８月31日に発表しました。秋田県は「平年並み」となり、地域別でも県北・中央・県南全てで「平年並み」と見込まれています。

今年の田植え最盛期は平年に比べ一日遅い５月23日、出穂最盛期は平年に比べ１日早い８月３日となりました。

今年の生育状況は、６月の低温及び日照不足により、草丈がやや短く、茎数が不足するなど生育の遅れが目立ったものの、７月に入ってから好天が続いたことから、穂数は少なく、１穂当たりモミ数はやや多い状況、全モミ数は「やや少ない」と見込まれています。

また、登熟は、８月に入ってからの気象がおおむね平年並みに経過したことに加え、全モミ数がやや少ないと見込まれることから「やや良」と見込まれています。

9月議会定例会に提出した主な議案

- 八峰町薬用植物収穫調整施設条例制定について
- 平成30年度一般会計補正予算
  1億9千537万2千円を増額追加した主な歳出
  今年10周年を迎える関東ふるさと会に関する旅費、補助金、峰浜地区統合子ども園地質調査業務委託、田中橋橋梁補修工事、空き家除却推進事業費補助金　等
- 平成30年度各特別会計補正予算
  ・八峰町国民健康保険事業勘定
  1千198万5千円を増額
  ほか6会計
- 平成29年度一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成29年度各特別会計決算の認定について
- 平成29年度決算に基づく財政の健全化判断比率及び資金不足比率の報告

町道白神二ツ森線通行止め解除 秋の行楽シーズンへ

次に、町道白神二ツ森線の通行止め解除について報告します。

５月の山開きに向け、４月下旬より道路除雪及び側溝清掃を実施したところ、５月15日の点検パトロールにおいて擁壁の傾き及び亀裂の広がりが確認されました。これにより、通行の安全確保の観点から路線の全面交通規制を行いながら、路肩保護と路面補修工事を進めてきましたが、予定どおり完成したことから、９月１日より全面通行止めを解除しました。この間、二ツ森登山などの観光客を始め、この路線を利用する皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、これから迎える秋の行楽シーズンにおいて、町内外の多くの方々に入山いただき白神山麓を楽しんでいただきたいと思います。

峰浜地区統合子ども園 基本設計の取りまとめを

次に、峰浜地区統合子ども園建設基本設計業務プロポーザルについてですが、６月29日県内外の指名14社に「技術提案書」の提出要請書を送付し、参加意志を示した10社を対象に、７月31日に第１回プロポーザル選定委員会を開催しました。選定委員会は、副町長を委員長、学識経験者として秋田県立大学木材高度加工研究所所長の林知行氏、他関係課長４名の計６名で構成し審査を行いました。第１回目の選定委員会ではプロポーザルに係る提案課題・評価項目・配点等を審議し、８月７日の第２回目の選定委員会では、「技術提案書」の１次審査を行い上位６社を選定しました。８月17日には第３回目の選定委員会を開催し、提案者のプレゼンテーション及びヒアリングを行い、提案の的確性、創造性及び実現性や提案者の実績等を審査した結果、能代市の「設計チーム　木　共同組合」を優秀者として決定しました。

８月31日には、随意契約を締結し、11月30日までの工期で基本設計を取りまとめることとしています。

平成30年度八峰町成人式 68名が成人

次に、成人式についてです。

今年の新成人の対象者は68名で、うち61名が出席しました。

私は式辞で、「成人としての権利を得た一方で、社会の一員として、義務という大きな責任を果たして行かなければならない。いわば、自分の行動の全てに責任を持つことであり、これが大人の第一歩になる。」と述べ、それに対し、新成人を代表してお二人から「成人としての責任を持った振る舞いを求められることはもちろんのこと、これからの社会の中核を成す存在であることを自覚し、頑張っていく。」また、「自慢のふるさと・八峰町を忘れることなく、町に恩返しできるよう精進していく。」という誓いの言葉がありました。

平成時代最後の成人式にふさわしい、頼もしく立派な新成人の姿を拝見し、誇らしく思いました。